

おれんじニュース

No325

2017年4月

指山からうっすらと化粧した星生山を望む

| 2017年 | 4月 | 5月 | 時間 | 場所 |
|-------|--------|--------|-------------|-----|
| 専門部会 | 11日(火) | 9日(火) | 13:30~15:30 | 西諫早 |
| 全体集会 | 26日(水) | 24日(水) | 19:00~21:00 | 公民館 |

CONTENTS

| | |
|-----------|---|
| 月例山行案内 | 2 |
| 伊藤正一さんのこと | 3 |
| 宝満山 | 4 |
| 雷山 | 5 |
| 岩屋山 | 6 |
| 皿倉山 | 7 |
| おれんじカレンダー | 8 |

4月

月例山行案内

| 部 | 技術研修部 | 山行部 | ひまわり山行部 | 自然保護部 |
|--------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 月/日(曜) | 4/9(日) | 4/16(日) | 4/21(金) | 4/23(日) |
| 山名(行事) | 英彦山 | 八方ヶ岳 | 烏帽子岳/鳴鼓岳 | 女山(船山)八幡岳 |
| 地 図 | 英彦山 | 八方ヶ岳、宮の尾 | 長崎西北部 | 多久 |
| 集合場所 | 諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30 | 諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30 | 諫早駅裏 8:20 西諫早駅 8:24 | 諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10 |
| 難 易 度 | 体力 1/技術 1 | 体力 2/技術 1 | 体力 1/技術 1 | 体力 1/技術 1 |
| 帰着時間 | 18:00 | 19:00 | 16:00 | 18:00 |
| 歩行時間 | 4.0h | 5.0h | 3.0h | 3.0h |
| 交通手段 | マイクロバス | マイクロバス | JR とバス | マイクロバス |
| 宿泊施設 | 無し | 無し | 無し | 無し |
| 温 泉 | 有り | 無し | 無し | 有り |
| 参加費 | 5,000 | 5,000 | 実費 | 4,000 |
| 申込期限 | 4/1 | 4/9 | 4/17 | 4/16 |
| 集 約 | 山下ちず子 | 田村 | 林孝子 | 坂本 |
| 備 考 | 修験道の山、御神幸際 | 山頂は草原で展望よし | 大村湾、時津町が見える | 両山とも展望は素晴らしい |

5月

| 部 | 技術研修部 | 自然保護部 | 山行部 | ひまわり山行部 |
|--------|------------------------|--------------|------------------------|------------------------|
| 月/日(曜) | 5/7(日) | 5/14(日) | 5/21(日) | 5/26(金) |
| 山名(行事) | 由布岳 | 九州オルレ南島原 | 太郎丸岳/次郎丸岳 | 高岩山 |
| 地 図 | 別府西部 | 口之津 | 姫浦 | 雲仙 |
| 集合場所 | 諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30 | 諫早駅 7:19 | 諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10 | 諫早駅裏 8:30 西諫早駅 8:20 |
| 難 易 度 | 体力 2/技術 2 | 体力 1/技術 1 | 体力 1/技術 1 | 体力 1/技術 1 |
| 帰着時間 | 20:00 | 17:17 | 18:00 | 16:00 |
| 歩行時間 | 3.5~4.5h | 4.0h | 4.0h | 3.0h |
| 交通手段 | マイクロバス | 島鉄 1,000 円切符 | ジャンボタクシー | マイカー |
| 宿泊施設 | 無し | 無し | 無し | 無し |
| 温 泉 | 有り | 希望者は小浜温泉 | 有り | 小地獄温泉 |
| 参加費 | 5,000 | 1,000 | 5,000 | 1,000 |
| 申込期限 | 5/1 | 5/7 | 5/14 | 5/23 |
| 集 約 | 山下ちず子 | 坂本 | 田村 | 林孝子 |
| 備 考 | ミヤマキリシマ鑑賞 | 港町と田園風景を楽しむ | 巨岩奇峰で景観は見応え有り | みそごろうと相撲を取ろう |

伊藤 正一さんのこと



川原慶紀 記

水晶小屋に至る赤岳の難所

自然保護についても、頻繁に行かれていたスイスやフィンランドの例をよく言われていた。自然と人間社会が調和するような日常の中から、本当の自然保護の意識が生まれる、日本の自然保護の有り方は、自然を都会や人から隔離することで保護しようとしていると。登山は社会と離れて存在するものではない、社会から目を背けては健全な登山文化の発展はないと云う事もよく言われていた。



雲の平 スイス庭園より

1998年、私が源流の小屋に入った年、残雪も少なく、雨も殆ど降らず、異常な渇水状態で、登山者の為の食事作りの水や飲用水を、下界からヘリコプターで荷上げして対応した。採算を度外視しての水の供給となった。又この年北アルプス一帯は、直下型の群発地震が一月以上に渡って発生し、鷲羽岳、わりも岳の登山道の崩落も続いた。

私が居た3年の間にも動けなくなった人を小屋へ誘導したり、時に背負って運んだり、道に迷った人を夜中まで捜し歩いたり、登山道の整備や付け替え、伊藤新道の再開発と充実した多忙な日々を過ごした。私は黒部源流の小屋で、夏山シーズンの3年間を伊藤家の人たちと暮らす中で、自然の中で生き抜く知恵と技術を教わった。

伊藤正一さんに深く感謝し、心より冥福を祈ります。

おわり



川原慶紀氏

2/12 宝満山 (829m)



参加者

田中、中須賀、田村、山口、鎗水、乾、大久保
中里、松岡、川原、林和、国分、吉川、白石、
工藤、中野、窪田(外) (17名)



登山の概要

竈門神社の境内から愛嶽山を越し鳥追峠までは急坂ながらも歩きやすい山道だった。行者道に入ると石段やガレ場となり雪も積もっていたので滑りやすかった。復路では頂上直下の鎖場に時間がかかった。難所が滝までの道も雪と樹氷を楽しめた。難所が滝の氷爆も7分通りの出来できれいであった。

ゆっくり班は出発を鳥追峠入口としたので頂上には先に到着できた。復路は難所が滝は省略して昭和の森に下山した。



一言感

- * 雪をさくさく踏み、見上げれば青空をバックに樹氷。とにかくきれいでした。
- * 宝満山は52年ぶりで計画をしてもらってすごく感激でした。深い雪と青空のコラボはなかなか見られない風景で元気が出ました。
- * 今日の運転手さんは松本さんで人吉の山に登って分校跡に泊まった時も運転していただきました。泊まった分校で駐車するとき入るのはずっと入ったが出るとき何回も切りなおしたことを思い出します。
- * 難所が滝のすぐそばで30年余過ごしましたがようやく氷爆を見ることができました。
- * 赤穂浪士の討ち入りのような雪。なんとも気持ちの良いサクサク感でした。
- * 自然保護部のチームワークばっちりでした。
- * 「飛び入り参加」、お天気はよし雪の山を歩くことのなんと気持ちのよいこと。

行程



2/18 雷山 (955m)

参加者 川原、福岡、中須賀、乾、松岡、田村、山下、田中

行程 西諫早駅 7:30~諫早 IC~8:30 佐賀大和 IC~9:25 長野峠
(長野峠組下車)~9:40 藤坂バス停(車1台デポ)~9:50 雷山
観音前バス停駐車場(登山届)~10:00 登山開始~11:00 雷山
上宮~11:30 雷山頂上(長野組 11:00 と合流)昼食
12:30 雷山上宮~(土砂崩れ地点を巻く)~雷山国際キャンプ場~不動池~雷山神籠石
~14:20 不動の滝~14:45 藤坂橋~三瀬峠~16:00 佐賀大和~17:20 諫早 IC



雷山中宮

登山概要

長野峠からの登頂組と雷山観音からの組は、峠からの組に 30 分遅れて頂上に着いた。下山は峠組が先行したが上宮からは一緒に下りた。上宮直下の NTT 道路が崩落で通行止めとあったが、実際歩いてみると、既に工事用の巻道が作っており、歩行に支障は無かった。ぐるぐると歩く舗装道路を避け、途中から植林に入り、ショートカットした。雷山神籠石や、不動の滝はオレンジでは今回が初めてだった。雷山から上宮、神籠石から不動の滝へは急下りで険しかった。雷山頂上では春のような暖かな日差しと、四囲の山々、玄界灘、有明海の景色を満喫した。



感想

◎曇り空で出た登山であったが雷山頂上は天気晴朗・風もなく、四方の展望良好。北東方向は十坊山・浮岳・二丈岳、南方は有明の海が光る。雷山からの下りは転倒すれば大けがの予感大、無事上宮に降りついた。あとは下山路の崩落点も何とか通過、本日のメイン：20 分の藪漕ぎを経て古代山城の神籠石に着いた。初めて見る滑らかな不動の瀧はみごとだった。

◎当日は観音前バス停からスタートして「雷山か」と軽い気持ちで登ったのですが、山下さんが長野峠組と早く合流しようとムチを入れ(?)やたらと急かすもので、結構きつかったです。天気は十分良くて、360 度の展望が楽しめました。下りは最近、水曜登山で定番になりつつある[ヤブコギ]を今回も時折しながら「神籠石」とスラッと容よく伸びた「不動の滝」を見て 3 時前には下山口の藤坂橋に着きました。マイカーを運転されたドライバーの方々、本当にお疲れ様でした。



20K を背負い訓練登山の大学生に撮ってもらった

2/24



福岡、吉川、乾、田中、山下ふ
松岡、高森、田村、佐藤、中村
川内、山下ち、林、林田(一般)

行程

諫早駅 8:20～西諫早駅 8:24～喜々津駅 8:29～
道ノ尾駅 8:57 着～登山口 9:40～岩屋神社 9:50
～岩屋山 11:15(昼食)岩屋山(出発)11:55～岩屋神社
13:50～西諫早駅 14:48～諫早駅 14:53

登山概要

道の尾駅から、虹ヶ丘小学校へ、正門の前が岩屋神社の駐車場と参道入り口、お参りして参道に入る。道の脇には水が流れ、蛙の鳴き声、鶯の声も。徐々に急斜面になるロープを使い、石を越え斜面を横切り、慎重に登る。急坂を登ると頂上。長崎市内が一望できる。尾根コースを帰る予定でしたが地元の人が声をかけてきて、その道は険しいので、岩屋神社まで案内すると言われお願いした。頂上から防火広場を少し過ぎると、東側の木のかまぼこ板に小江原、油木と書いてあり少し行き下る。・小江原から来た道と、自然歩道を横切り岩屋神社に。稜線に道標もあまりなく迷いやすい。下りのコース GPS の勉強になったのでは？



岩屋山頂上



岩屋山の紅梅、白梅

一言感想

- * 岩屋山の登山道の多さにまた愛好家の多さにビックリでした。
- * 小学校の遠足以来ン十年ぶり岩屋神社から登りました。道もすっかり変わりビックリしました。
- * 岩屋山は3回目だった。コースは 毎回違うし面白かった。
- * 岩屋山は数回登った。谷コーだったのですが、無事に登れて頂上の素晴らしさを楽しみました。
- * 前回(いつだったか忘れましたが)岩屋山に登った時、頂上で、ツルの北帰行を待っているという、数人の人に出会った。出水市の愛好会の人達と連絡を取り合い今朝何時頃こちらを飛び立ったからそちらは何時ごろ通過するだろうと連絡があるそう。写真を見せてもらった。多分一番若くて 判断力のあるツルの雄が、子供の弱いツル 年老いた ツルをかばい 隊列を考え最前列に全身に風をうけ 二列に放射状に整然と飛んでいる。私はそう思った。生き物すべて必死で生きている。なんとなく感動した。今日地元の人らしき人に出あった。一週間前にツルの北帰行を見たと話してあった。本物が見たい。



頂上でお弁当

2/26(日) 皿倉山 (622m 周辺縦走・北九州)



皿倉山頂より北九州市街を臨む

中須賀 鎗水 大久保 坂口 高田 福岡
 中野 田村 松田 山口 田中 坂本

花尾山

帆柱山

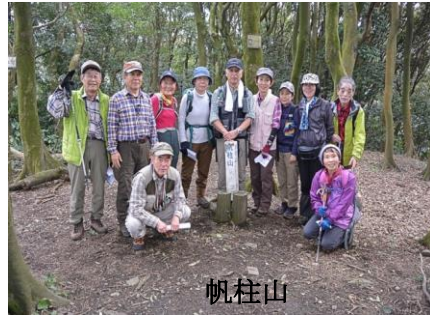
権現山

皿倉山

行程 6:20 諫早駅裏～6:30 西諫早駅～9:30 帆柱公園(見巡松登山口)～権現の泉～花尾ノ辻～10:00 花尾山(351m)～内藤陣山～帆柱ノ辻～11:00 帆柱山(488m)～権現ノ辻(皇后杉)～12:00 権現山(617m)昼食/12:30～皿倉平～皿倉山(622m)休憩 皿倉山 /13:20 下山～国見岩～14:30 帆柱公園着～18:30 諫早着



花尾山



帆柱山



権現山

概要 四座を歩き皿倉山を目指した。緩やかな傾斜の登山道を進むと花尾城跡碑がある。花尾山頂は広く展望よし、ここから「ふれあいの森コース」で帆柱山へ、樹齢400年と言われる皇后杉が林立する道を歩き、権現山へ、30分で皿倉山へ、山頂からの眼下に八幡の町並み、遠くに小倉も一望できて素晴らしい。帰りは気持ちの良い林道を約1時間で下山、全行程4時間半、約10キロの縦走でした。



皿倉山

一言感想

- * 皿倉山に初めて行った、市民の憩いの場として整備されている。楽しいハイキングでした。皿倉の名が更暗から転訛したとは驚き、、、
- * 四座ミニ縦走、気候も良く道も歩きやすく楽しめました。皿倉の日本一のコロッケ気になります(笑)
- * 一日に北九州の山を4座も登れてシアワセでした。
- * 街の上の4つの山、歩きやすく面白い山でした、一昨年の尺岳～皿倉山縦走の残りが消化できたような感じです。
- * 低山でも結構厳しい所あり、楽な所あり色々と経験出来ました。最後のコロッケ食べたかったなあ～～～ これだけが心残り、、、



国見岩

おれんじカレンダー

| 4月 | | | 5月 | | |
|----|---|-------------------------|----|---|-------------------------|
| 1 | 土 | オレンジ HC 定期総会 | 1 | 月 | |
| 2 | 日 | | 2 | 火 | |
| 3 | 月 | | 3 | 水 | 水曜登山 |
| 4 | 火 | | 4 | 木 | |
| 5 | 水 | 水曜登山 | 5 | 金 | |
| 6 | 木 | | 6 | 土 | |
| 7 | 金 | | 7 | 日 | 由布岳(大分県) 技研部 |
| 8 | 土 | | 8 | 月 | |
| 9 | 日 | 英彦山(福岡県) 技研部 | 9 | 火 | 専門部会(13:30~15:30) |
| 10 | 月 | | 10 | 水 | 水曜登山 |
| 11 | 火 | 専門部会(13:30~15:30) | 11 | 木 | |
| 12 | 水 | 水曜登山 | 12 | 金 | |
| 13 | 木 | | 13 | 土 | |
| 14 | 金 | | 14 | 日 | 口之津散策(南島原) 自然保護部 |
| 15 | 土 | | 15 | 月 | |
| 16 | 日 | 八方ヶ岳(熊本県) 山行部 | 16 | 火 | |
| 17 | 月 | | 17 | 水 | 水曜登山 |
| 18 | 火 | | 18 | 木 | |
| 19 | 水 | 水曜登山 | 19 | 金 | |
| 20 | 木 | | 20 | 土 | |
| 21 | 金 | 鳴鼓岳/烏帽子岳(長崎県) ひまわり | 21 | 日 | 太郎丸岳/次郎丸岳(熊本県) 山行部 |
| 22 | 土 | | 22 | 月 | |
| 23 | 日 | 女岳/八幡岳(佐賀県) 自然保護部 | 23 | 火 | |
| 24 | 月 | | 24 | 水 | 水曜登山, 全体集会(19:00~21:00) |
| 25 | 火 | | 25 | 木 | |
| 26 | 水 | 水曜登山, 全体集会(19:00~21:00) | 26 | 金 | 高岩山(長崎県) ひまわり部 |
| 27 | 木 | | 27 | 土 | コンパニオンレスキュー |
| 28 | 金 | | 28 | 日 | |
| 29 | 土 | コンパニオンレスキュー | 29 | 月 | |
| 30 | 日 | | 30 | 火 | |
| | | | 31 | 水 | 水曜登山 |

| | |
|--------|---|
| 発行元 | オレンジハイキングクラブ |
| 発行責任者 | 福岡 正廣 |
| 編集委員 | 鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子、 田中静香、高森陽子、兵庫芳隆 |
| 発行年月日 | 2017/3/22 |
| 財政担当 | |
| 郵便振替口座 | |
| ホームページ | http://orangehikingclub.com |

一年経ちました!
 「おれんじニュース」は、発行責任者を含む
 八人の編集委員会で分担作成を始めて
 四月子で一年になります。会員の協力と
 委員の工夫を大切に、五年かけて学ん
 だ各委員のパソコンテクニクで「見やすく」
 「美しく」「パラエティ性」を目指し、かつ
 全ページカラー化しました。内外の評価
 は様々と思いますが、オレンジHCの広報
 誌として更に充実を図る積りですので、
 皆様のご協力をよろしく願います。
 編集委員一同